

2021年度（令和3年度） 総合計画の進捗状況レポート

資料 1-1

本町では、南小国町共有ビジョン（以下「ビジョン」）の実現に向けて、まちづくりの計画（総合計画）を策定し、この計画に沿って様々な取組みを進めています。

このレポートは、計画の進捗状況（主な動きや成果等）を町民の皆様にお知らせするために作成しています。

町民の皆様には、お手数をおかけしますが、ご覧いただき、別添アンケートにより評価や意見をいただきますようお願い申し上げます。

〈2021年度（令和3年度）の主な動き〉

基本目標 1 に関するトピック

**里山自然体験活動
（小学4年生）**



**起業塾
の開催**



基本目標 2 に関するトピック

**日本郵便（株）と
包括連携協定の締結**



**くらし応援券
の発行**



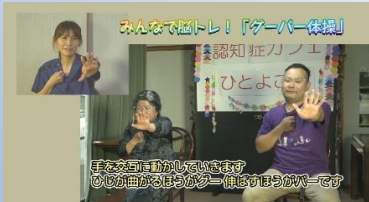

基本目標 3 に関するトピック

「ひとよこい」

「うきうき体操」

【膝痛・腰痛予防】

コロナ禍における
フレイル予防の取組
「ケーブルテレビを
活用した体操番組の
放映」

基本目標 4 に関するトピック

着工前

しゅん工

**中湯田赤迫線
改良工事の実施**

**「にじバス」の
運行開始**





〈基本目標に関する成果指標の推移〉

基本目標	指標の推移（総合計画上期(2020～2024年度)）						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
1. 雇用を守り、増やし、創り出すとともに、次世代を担う人材を育て活かす	指標(単位)	町内事業所数(社)					
関連ビジョン 【き】【の】 関連戦略 1, 2	530	397	326				550 (2024年度)
2. 新しい人・資金の流れと連携・協働の一層の促進により地域の活力を高める	指標(単位)	町民税課税額(百万円)					
関連ビジョン 【と】 関連戦略 3	136	146	142				142 (2024年度)
3. 一人一人の個性・人生に応じた希望を叶えやすい環境を創り、皆が誇りを持って活躍できる地域社会を実現する	指標(単位)	ビジョン【よ】に関する将来像到達度(点)					
関連ビジョン 【よ】 関連戦略 4	-	2.79	3.09				4 (2024年度)
4. 誰一人取り残されず、安心して暮らし続けられる町をつくる	指標(単位)	ビジョン【ら】【さ】に関する将来像到達度(点)					
関連ビジョン 【ら】【さ】 関連戦略 5, 6	-	2.84	3.12				4 (2024年度)

※別途実施させていただく町民アンケートの集計結果により測定することとなります。

2021年度(令和3年度) 総合計画進捗状況レポート(項目別)

要点だけ確認されたい場合、白字の部分(特に大事な点)を中心にご覧ください。

2050年共有ビジョン	き	築いてきた美しい里山の景観、伝統文化、生業を次世代に引き継いでいく里
2030年の目指す姿	<input type="checkbox"/> 乱開発を防ぎ、自然豊かな姿を保っている <input type="checkbox"/> 若い世代に伝統文化や本町らしさの伝承が進んでいる <input type="checkbox"/> 農業や林業に関わる人が増えている	これらのアンケート項目に対応する取組実績について以下に記載しています。
取組方針	〈戦略1〉 築いてきた美しい里山の自然・景観・文化を守りつつ、現在地域にある「しごと」の稼ぐ力を高めていく	

施策(1) 里山の自然・景観・文化の保全		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						上期目標 (達成時期)
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	
指標(単位)	啓発活動実施件数(件)	15	12	15				20 (毎年度)
	野焼き実施面積(ha)	2,355	2,353	2,433				2,355 (2024年)
	日本で最も美しい村づくり活動件数(件)	3	0	4				5 (毎年度)
関連予算額(単位:千円)			119,656	122,357	122,894			
進捗状況自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価の理由	◆環境保護に関する各種ポスターの掲示や、最も美しい村や不法投棄防止に関する小学生への出前授業等の啓発活動に精力的に取り組んだ。また、阿蘇の世界文化遺産登録に向けた活動の一環として、中原地区での現地調査や町民との意見交換などを実施した。 ◆好天にも恵まれ前年以上の面積の野焼きを実施することができた。 ◆「日本で最も美しい村」づくり事業補助金を実施し、町民による特産品開発2件、伝統文化芸能2件に補助を行い、美しい村づくりにつながる活動を支援した。また、高森町と連携し最も美しい村連合阿蘇支部として、宝探しイベントやビンゴラリー等のPR活動を展開した。							
うまくいった点、 いていない点等								

施策(2) 農林業の課題克服と競争力強化		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						上期目標 (達成時期)
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	
指標(単位)	荒廃農地解消面積(ha)	0.8	0.6	0.3				2.1 (期間累計)
	森林伐採面積(ha)	97	132	138				100 (2024年度)
関連予算額(単位:千円)			37,591	37,888	39,497			
進捗状況自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価の理由	◆農業委員会活動による担い手のマッチング活動などを行った。営農再開により、0.3haの荒廃農地を解消することができた。 ◆森林経営計画に基づき、森林組合とも共働して適切な伐採を行うことができた。							
うまくいった点、 いていない点等								

施策(3) 観光・サービス業の持続的成長		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						上期目標 (達成時期)
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	
指標(単位)	本町の観光入込客数(千人)	1,087	876	786				1,450 (2024年)
関連予算額(単位:千円)			157,449	178,167	159,342			
進捗状況自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価の理由	◆観光商品券の発行など観光振興施策を実施したが、2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、本町における観光入込客数は減少となった。 ◆依然として厳しい状況であるが、ポストコロナに向け、バス広告やTVCMなど、熊本、福岡を中心としてPR施策を実施し、南小国町の知名度上昇に努めた。							
うまくいった点、 いていない点等								

2050年 共有ビジョン	よ	寄り添い支え合い、人と人のつながりを大切に、一人一人が誇りを持ち、多様な生き方を尊重しあえる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 人々が交流する機会や場所が増えている <input type="checkbox"/> 思いやりと福祉の充実により町民生活の負担が軽減されている	
取組方針	〈戦略4〉若者、女性、高齢者、障がい者、ひきこもり、外国人等町内で暮らす誰もが充実した人生を過ごしていけるよう、人生の一層の充実に向けた希望をかなえるチャンスを創出するとともに、実現を阻むハードルを最小化していく。	

施策(10) 結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶える		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						上期目標 (達成時期)
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	
指標(単位)	出生数(人)	27	21	21				30 (2024年度)
	関連予算額(単位:千円)		0	0	0			
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 <small>うまくいった点、 いっていない点等</small>	◆児童の放課後の居場所を確保する施策として、教育委員会所管事業の放課後子ども教室を2022年度より週3日から週4日に拡充して実施することとした。 ◆「子育て世代包括支援センター」については、設置に必要な専門職員を確保するため募集を行い、大学や関係団体へのリクルート活動を行ったが応募がなく、採用ができなかった。							

施策(11) 自立支援、健康づくりの推進と生涯現役社会の実現		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						上期目標 (達成時期)
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	
指標(単位)	要介護認定者数(人)	336	351	334				323 (2024年度末)
	要介護認定率(%)	21.6	22.4	21.3				20.0 (2024年度末)
	関連予算額(単位:千円)		215	440	440			
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 <small>うまくいった点、 いっていない点等</small>	◆2021年度中はコロナ禍で新たな通いの場の立ち上げを実施することができず、2020年度と同じ13箇所にて週1回の活動が実施された。感染症対策に留意しながら活動を行う一方、急激な感染者の増により施設の使用制限が行われるなど、活動休止期間が長期化する場所もみられた。 ◆活動休止の代替手段のケーブルテレビを活用した体操番組については、体操の種類を増やしたり、放映時間を工夫するなどした。 ◆コロナ禍による活動休止期間は2020年度よりも長期化しており、健康に影響が及ぶ高齢者は今後増加に転じる恐れがある。							

2050年 共有ビジョン	ら ライフラインを充実させ、地域全体で協力し、だれもが笑顔で安心して過ごせる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 便利で強靱なインフラや生活環境の整備が進んでいる <input type="checkbox"/> 災害から生命・生活を守る体制が築かれている
取組方針	〈戦略5〉 交通・買物・医療・福祉等の生活のあらゆる場面で、誰もができる限り不安や不便を感じることなく暮らしていくために、ハード・ソフト両面で必要な対策を講じていく

施策(12) 交通弱者対策の推進		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	町内の高齢者による交通事故発生件数(件)	17	16	23				8 (2024年度)
	関連予算額(単位:千円)		26,500	20,000	20,000			
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由	◆交通事故発生件数は増加しているが、高齢者等の生活に必要な買い物、通院等の交通手段を確保することを目的としたタクシー利用助成事業は、毎年延べ1万人程度利用いただいております。2021年度も延べ約1万人が助成事業を利用いただくなど、高齢化が進むなか、一定の役割を果たしているものと考えています。 ◆2021年10月から、南小国町と小国町の中心市街地を巡るコミュニティバス「にじバス」の運行を新たに開始しました。運行は平日のみですが、半年間の利用者数が739人、月平均は約123人となっており、運行内容の見直しや、利用促進の取組を進める必要がある。							
うまくいった点、 いっていない点等								

施策(13) 医療・介護・福祉の連携による包括的なケアの推進	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由	◆小国郷医療福祉あんしんネットワークの活動を通じ、小国公立病院を中心に在宅医療の支援体制の構築を図った。 ◆コロナ禍における多職種連携のあり方を模索し、オンライン会議の開催を推進し、連携を図った。 ◆コロナ禍の長期化に伴い、住民フォーラムや認知症カフェといった人の集まるイベントの開催はできなかった。
うまくいった点、 いっていない点等	

施策(14) 地域住民の生活を支えるインフラの整備及び管理		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	道路改良計画のある7路線の整備進捗率(%)	41	48	52				80 (2024年度末)
	関連予算額(単位:千円)		84,181	70,819	160,000			
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由	◆7路線のうち重点事業である町道中湯田赤迫線(瓜上矢田原線)の整備を行った。他の6路線については、2020年発生の災害復旧工事を優先したこと等により実施できなかった。							
うまくいった点、 いっていない点等								

施策(15) ICT・IoT技術の導入による新たなまちづくり		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	ICT・IoT導入件数(件)	1	1	2				5 (期間累計)
	関連予算額(単位:千円)		6,057	4,773	5,301			
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由	◆2020年度末に地域情報化計画の策定が完了し、個別事業の導入や調査研究が実施された。費用等の問題から今後も検討継続とする事業が多かったものの、町HPでのアンケートシステムの構築、福祉関係の情報連携システムの構築など、順調に導入まで進んだ事業もあった。今後はさらなる検討を行い、導入事業の効果検証などを行っていく。 ◆ドローンを活用し、輸送の実証実験や有害鳥獣の探索、猟友会の駆除報告等を実施した。							
うまくいった点、 いっていない点等								

施策(16) 防災・減災体制の強化	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆2021年6月に南小国町地域防災計画書の見直しを行い、避難指示等の変更に伴う発令基準の整理等に加え、避難行動や避難所運営における新型コロナウイルス感染症対策、応援の受け入れ体制、廃棄物処理計画等の修正を行った。</p> <p>◆また、南小国町国土強靱化地域計画の点検を行い、災害による被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながる災害に強く安心安全な地域づくりを推進するため、各課局が推進すべき取組みの方向性を確認した。</p>

施策(17) 情報発信・相談支援体制の充実	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆ケーブルテレビ関連では、役場各課局担当職員出演による「南小国町役場からのお知らせ」をはじめ、放送番組審査会の意見を踏まえた新番組「最旬情報きよらカアサ」や新企画「みなみおぐにNOW！歴史シリーズ」等、新たな取り組みも実施できた。</p> <p>◆ホームページ関連では、2020年度に整備した利便性が高くなったシステムにより、「新型コロナウイルス感染症関連情報」など、役場各課局それぞれにおいて適時必要な情報掲載が出来る体制を整備している。</p> <p>◆広報誌関連では、特段新しい企画記事等は無かったが、年間を通してスケジュールどおり発行できた。</p> <p>◆町民が相談しやすい役場を作ることを目的に、接客技術等の向上のため職員がサービス向上研修・クレーン対応研修を受講した。</p> <p>◆消費者相談窓口に専門相談員を配置し、消費者被害の回復や被害未然防止のための取組みを行った。</p> <p>◆高齢者の相談支援に携わる地域包括支援センターの専門職員の確保については、社会福祉協議会からの出向職員と町会計年度任用職員にて何とか確保してきたが、2021年度においても町職員となる専門職員の確保はできなかった。</p>

2050年 共有ビジョン	の のびのびと学べる環境の中ですべての人が夢に向かって挑戦できる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 子供達が地域ならではの体験等を通してのびのびと学んでいる <input type="checkbox"/> みんなが夢を持ち、語りあい、互いに挑戦を応援しあっている
取組方針	〈戦略2〉 地域内における人材育成と新たな「しごと」づくりを促進していく

施策(4) のびのびと学べる環境の整備	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	小中学校の学習環境に対する満足度(点/4点満点)	-	3.40	3.45			3 (毎年度)
	関連予算額(単位:千円)		17,140	877	780		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆GIGAスクール関係補助事業を活用することで、児童生徒のための学習用コンピュータの整備は目標以上の1人1台の整備済み。</p> <p>◆故郷を愛する心を育成するための教育プログラムも、小学4年生の「里山自然体験活動」や中学1年生の「農業民泊体験活動」、中学2年生の職場体験活動を発展させた「まちインターン」を実施し、児童生徒の満足度も高く、一定の成果を上げることができた。</p> <p>◆学校給食センターについては、建設用地が確定しておらず、農協跡地の活用の状況も踏まえて考える必要があり、予定通りに進捗できていない。</p> <p>◆上記の取組状況を含め、その他学校教育の取組等、総合的な成果として満足度の高い結果を得ることができた。</p>						

施策(5) 新たな挑戦を育てる	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	起業及び新規事業による売上総額(千円)	-	8,723	6,855			50,000 (2024年度)
	関連予算額(単位:千円)		56,862	27,527	74,754		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆2021年度に起業塾を実施し、オンライン参加を含め10人の参加があった。その中から、個人での起業が1名、町内事業者の新規事業の支援が2名、計3名が新たに2022年度から地域おこし協力隊として活動することになるなど、本町での新たな挑戦を育てる活動を継続して実施できている。</p> <p>◆町内事業者の人材不足の解消と、働き手の多様な働き方の実現を目的として、細かく切り分けた事業者の業務を、町内外の人材が引き受ける「まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業」の取組を新たに開始した。</p> <p>◆そのほか、町外からの移住者や関係人口を創出するための「ワーキングバケーション事業」や、未来づくり拠点MOGの利用促進や情報発信を行い、若者世代の獲得、企業との連携、町内事業者との連携などに取り組んだ。</p> <p>◆南小国夢チャレンジ事業により、飲食店開業による地域活性化に取り組んだ。</p>						

2050年 共有ビジョン	さ 再生可能エネルギーを地域資源から生み出し、有効活用し、未来につながる豊かな暮らしを実現できる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーの産出・活用が進んでいる <input type="checkbox"/> 木材がより有効に活用されている
取組方針	〈戦略6〉 木質バイオマスの活用や小水力発電等の再生可能エネルギーの導入、省エネ及びCO2削減につながる動きを促進していく

施策(18) 木質バイオマスの活用推進	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	町内における木質バイオマス燃料使用量(t)	-	183	199			930 (期間累計)
	関連予算額(単位:千円)		658	300	750		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	◆新型コロナウイルス感染症対策による温泉館の休館はあったものの、木質バイオマスボイラの活用により使用量の増加につなげることができた。 ◆ペレットストーブ等購入補助金により、1件の新規導入があった。						

施策(19) 新たな再生可能エネルギーの導入推進	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	役場関与により導入された再生可能エネルギー施設等による年間発電量(kWh)	0	0	5,833			400,000 (2024年度末)
	関連予算額(単位:千円)		2,250	2,390	9,698		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	◆2020年度に策定した「南小国町再生可能エネルギー導入ロードマップ」に基づき、2021年度から新たに「南小国町太陽光発電設備等導入促進事業」及び「南小国町マイクロ水力発電設備導入実証事業」を実施し、太陽光発電設備等の導入は5件行われた。マイクロ水力発電設備導入実証事業については、制度設計や設置場所の選定等に時間を要したことにより、2021年度に完了することが出来なかったため、2022年度も継続して実施することとした。						

施策(20) 省エネルギーに関する活動の推進・促進	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	町民の省エネ活動促進のための普及啓発事業(回)	2	13	4			12 (毎年度)
	関連予算額(単位:千円)		0	5	5		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	◆2021年度は、町民向けに、省エネの必要性や省エネにつながる具体的な活動について、継続的に、理解しやすい形で周知広報活動に取り組むこととしていたところ、ゴミカレンダーやホームページ・広報誌を活用したゴミの分別・リサイクル・二酸化炭素排出量に関する周知と、こどもデイサービスで省エネについての講話の後に、防災食づくりを行う活動を行った。 ◆2022年度は、第4次南小国町地球温暖化防止実行計画に沿って、省エネについて定期的に広報を行う活動としていきたい。						

2050年 共有ビジョン	と 共に連携し、世界とつながり、世界に誇れる幸福な暮らしができる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 町外・国外から本町及びその地域資源等への注目度が高まっている <input type="checkbox"/> 本町への移住者や移住希望者が増えている <input type="checkbox"/> 町外で本町のために活動する人や企業が増えている
取組方針	〈戦略3〉 地域内外の人同士、団体同士のつながりが生まれ、育つ環境を整備し、新たな人やお金の流れを地域の維持・発展の原動力にしていく。また、つながりをうまく活かし、戦略的な外商を推進しながら、地域経済の中でできる限りお金が循環するようにし、地域の経済的な豊かさを高めていく

施策(6) 「ウィン・ウィン」な関係でつながる連携や協働の推進

進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<ul style="list-style-type: none"> ◆2021年11月に日本郵便株式会社と「包括連携に関する協定」を締結した。これにより、安心安全な暮らしの実現、地域経済活性化、子供の育成、女性活躍推進に関する事項等について、相互に連携して取り組む体制を構築することができた。他協定締結先も含め、今後も相互に多様な連携を行うことができるよう、定期的に連絡体制の確認を行うなど、各協定の効力を最大化するための取組みを行っていく。 ◆SMO南小国を中心として、若者世代の獲得、企業との連携、町内事業者との連携などに取組み、移住を含めた外部人材を獲得できた。 ◆地域資源、文化の継承を目的とした小国郷の学校を開催し、南小国町、小国町の両町民の交流の場ができた。

施策(7) 新しい人の流れをつくる		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	移住定住施策による移住者数(人)	6	3	3				40 (期間累計)
	関連予算額(単位:千円)		8,311	19,385	19,960			
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<ul style="list-style-type: none"> ◆感染症の流行により、都市部でのイベント等への出展は出来なかったが、県が実施したオンライン上や近隣地域での移住相談会に出席し、動画配信などによるPR活動を展開した。 ◆SMO南小国と連携して企画した、都市部の若者を対象とした移住定住体験プログラムについて、感染症を考慮し、オンライン上で開催した。今回は直接町に来ていただくことは出来なかったが、将来的な移住等を検討される方の発掘に繋がった。 ◆町内に移住等を検討されている方に対して、相談対応を47件、「空き家バンク」登録物件の内覧対応を36件行った。 ◆本年度から移住定住コーディネーターを設置し、相談体制を拡充したが、居住地の確保が上手くいかず、移住まで結び付かない事例もあった。 							

施策(8) 戦略的な外商の推進

進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<ul style="list-style-type: none"> ◆当町の補助金を活用し、南小国町観光協会がPR動画の作成等による本町の魅力の発信などを行った。 ◆町外在住者向けに「観光商品券」を発行し、町外からの誘客を図った。 ◆ECサイトへの出品を希望する生産者のサポートを行い、販路拡大につなげた。

施策(9) 地域経済におけるお金の循環を高める

進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	◆町内在住者向けに「倍返し飲食券」、「3倍返し宿泊券」などを発行したほか、新たに全町民に対し1万円分の「くらし応援券」も配布するなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響で打撃を受けている地域経済と町民の生活を支援した。